

第2学年\*組 外国語（英語）科学習指導案

指導者 \*\* \*\* (T1)  
 \*\* \*\* (T2)

1 単元名 Unit 5 A New Language Service

2 目標

- 英語に興味・関心をもち、積極的に質問したり、答えたりしている。  
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 接続詞を使って自分の意見やその理由を表現する。  
 (外国語表現の能力)
- 文章を読んで、その内容や文章構成を理解する。  
 (外国語理解の能力)
- 接続詞の意味・用法を理解する。  
 (言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領「言語活動エ 書くこと(オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。」に関連して設けられている。接続詞if, that, when, becauseを使って、語と語、文と文のつながりを意識したり、文章構成に配慮したりして自分の意見を相手に正しく伝えることをねらいとしている。

(2) 生徒の実態 (男子12名 女子17名 計29名)

アンケート調査(実施日 10月1日 調査人数 男11名 女16名 計27名)

1年教科書の本文の内容理解について	正答	誤答	無答
① 既習事項の読み取り(所要時間を答える)	16名	6名	5名
② 既習事項の読み取り(何をしたかを答える)	12名	7名	8名
③ 既習事項の読み取り(天気を答える)	20名	4名	3名
自分の意見を書くことについて	できた	できない	無答
① 正しい語彙と文構造で英文を書くことができたか。	6名	10名	11名
② 正しい文章構成で書くことができたか。	5名	11名	11名

生徒の実態調査から、「読むこと」では、本文の内容を正しく理解できていない生徒がいることが分かる。「書くこと」においても、自分の意見を正しく伝えることができていない生徒が半数以上いることが分かる。これらのことから、正しい語彙や文構造、文章構成について理解させる指導や、自分の意見などを書かせる場面の設定が不十分であったと考察できる。

(3) 指導観

「読むこと」の指導では、モデル文を提示することで、正しい文構造や文章構成を意識させながら、英文の内容を正しく理解できるようにする。さらに、「書くこと」の指導では理解した英文をもとに、自分の意見を正しく伝えることができるようにする。

そのため、相互評価を取り入れ、英文の正確さと内容の豊かさについて確認できるようにする。英文の正確さについては語彙や文構造、文章構成を、内容の豊かさについては書き手が自分の意見を読み手に納得できるだけの分量で書くことができたのかを確認できるようにする。また、読み手から書き手へコメントを書かせることで、「書くこと」への意欲を喚起させたい。

4 指導計画(5時間扱い)

時	学習内容・活動	評価規準
1	○友だちの明日の予定について書こう。 ・if節を使って文を書く。	・if節を用いて友だちの明日の予定について書くことができる。 (外国語表現の能力)
2	○友だちに質問をしよう。 ・that節の肯定文から疑問文を作る。	・that節を用いて友だちに質問することができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
3 本時	○自分の意見が相手に伝わるように書こう。 ・because節を使って意見文を書く。	・because節を用いて、適切な文章構成で自分の考えを表現できる。 (外国語表現の能力)
4	○どんな時にサービスしてもらえるのか読み取ろう。 ・教科書の本文を理解する。	・when節が用いられている文章を読みとることができる。 (外国語理解の能力)
5	○if節,that節,when節,because節を用いた文のまとめをしよう。 ・各接続詞の用法を確認する。	・接続詞の形・意味・用法など、その運用についての知識を身につけている。 (言語や文化についての知識・理解)

5 本時の指導

(1) 目標

- because 節や文章構成の知識を活用して意見文を書くことができる。

(外国語表現の能力)

(2) 努力事項 (学校教育指導方針) との関連

- 本県の中学校外国語 (英語) の努力事項に「4 技能を統合的に育成する指導の充実」がある。その具現化を図るための取り組みとして、「読むこと」と「書くこと」を関連づけた授業づくりを工夫する。

(3) 準備・資料

- ・絵
- ・写真
- ・ワークシート
- ・辞書

☆十分満足できる人への支援

★努力を要する人への支援

(4) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点と評価	
	T1	T2
1 あいさつをする。	・元気な雰囲気であいさつができるようにする。	
2 クリスマスで問答をする。	・既習表現を使い質問することで、その質問に対する答え方を復習することができるようにする。	
3 本時の課題 夏か冬のどちらが好きなのか理由を含めて自分の思いをいっぱい書こう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手に好きな理由を納得させるだけの分量 (内容の豊かさ) で書くことを伝える。</li> <li>・絵や写真を提示することで生徒の背景知識を活性化させ、内容を理解しやすいようにする。</li> <li>・モデル文の太字に注意しながら並び替えさせることで、接続詞の働きや文章構成の確認をする。</li> </ul>	
(1) pre-reading ・季節に関連した絵や写真から、その内容を推測する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に、接続詞や文章構成に配慮した意見文を書いておく。</li> </ul>	
(2) while-reading ・モデル文を読みながら、内容や文章構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>★補助プリントを活用して文章構成が理解できるように支援する。</li> </ul>	
(3) post-reading ・どちらの季節が好きなのか理由を含めて書く。  ・他の生徒のお手本となるように代表生徒が書いた英文を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>★机間指導をしながら個別に助言したり、補助プリントを活用したりすることで、文章構成を意識しながら書くことができるようにする。また友達同士で相談しながら書くように促す。</li> </ul>	
4 グループになり相互評価を行う。 ・正しい語彙や文構造になっているか。 ・正しい文章構成になっているか。 ・相手が納得する英文であるか。 ・読み手が書き手にコメントを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互評価の項目を示すことで、友達の英文を読みながら正しい語彙や文構造、文章構成、内容の豊かさなどについてペアで確認できるようにする。</li> <li>・友達同士で意見文を読み合い、コメントを書くことで、書く意欲をもたせる。</li> </ul>	
5 本時の学習のまとめと次時の学習内容について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ because 節や文章構成の知識を活用して意見文を書くことができたか。(ワークシート)</li> <li>・本時の学習内容を振り返り、次時の学習意欲を喚起させたい。</li> </ul>	